

## 2. 各学部の学位授与の方針

### 教育学部

#### 学位授与の方針

教育学部は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成のため、教員や地域社会の指導者として必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としている。このことを踏まえ、本学が定める学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本学部の学位を授与する。

#### 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（国語教育）

#### 学位授与の方針

教育学部国語教育学科は、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成のため、教員や地域社会の指導者として必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としている。

そのために、言語・文学・書道・国語教育のすべての面での学習を通して、幅広く豊かな教養と確かな専門性を身に付け、社会に貢献するために必要な創造的知性と実践力を兼ね備え、グローバルな視野と国際的対話力を持った人材の育成を目指している。

このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本学科の学位を授与する。

#### 学習成果

##### 【豊かな教養】

教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的知識を身に付け、異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。

本学科では、「豊かな教養」に関して、教育内容は、新しい研究成果を反映し、教授法は、学習者の主体的な「学び」が喚起されるような形態を意識し、評価法は、目標に即してなされるよう設定している。これら組織的・体系的に編成された、教育内容・教授法・評価法等において、基礎・基本的な理解がされている。

##### 【確かな専門性】

自らの専門分野の理論・概念や方法論に関する基本的知識を身に付け、当該分野の情報・データを活用し、問題解決のために応用できる。

本学科では、「確かな専門性」に関して、教育内容は、新しい研究成果を反映し、教授法は、学習者の主体的な「学び」が喚起されるような形態を意識し、評価法は、目標に即してなされるよう設定している。これら組織的・体系的に編成された、教育内容・教授法・評価法等において、基礎・基本的な理解がされている。

##### 【創造的な知性】

自分で課題を発見し、解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やチームで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。

本学科では、「創造的な知性」に関して、教育内容は、新しい研究成果を反映し、教授法は、学習者の主体的な「学び」が喚起されるような形態を意識し、評価法は、目標に即してなされるよう設定している。これら組織的・体系的に編成された、教育内容・教授法・評価法等において、基礎・基本的な理解がされている。

##### 【社会的な実践力】

社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、市民や職業人として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探求し、社会に貢献する意欲を持っている。

本学科では、「社会的な実践力」に関して、教育内容は、新しい研究成果を反映し、教授法は、学

習者の主体的な「学び」が喚起されるような形態を意識し、評価法は、目標に即してなされるよう設定している。これら組織的・体系的に編成された、教育内容・教授法・評価法等において、基礎・基本的な理解がされている。

#### 【グローバルな視野】

国際社会に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。

本学科では、「グローバルな視野」に関して、教育内容は、新しい研究成果を反映し、教授法は、学習者の主体的な「学び」が喚起されるような形態を意識し、評価法は、目標に即してなされるよう設定している。これら組織的・体系的に編成された、教育内容・教授法・評価法等において、基礎・基本的な理解がされている。

#### 【情報通信技術の活用力】

社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。

本学科では、「情報通信技術の活用力」に関して、教育内容は、新しい研究成果を反映し、教授法は、学習者の主体的な「学び」が喚起されるような形態を意識し、評価法は、目標に即してなされるよう設定している。これら組織的・体系的に編成された、教育内容・教授法・評価法等において、基礎・基本的な理解がされている。

#### 【汎用的な知力】

さまざまな専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、数的処理能力を身に付けている。

本学科では、「汎用的な知力」に関して、教育内容は、新しい研究成果を反映し、教授法は、学習者の主体的な「学び」が喚起されるような形態を意識し、評価法は、目標に即してなされるよう設定している。これら組織的・体系的に編成された、教育内容・教授法・評価法等において、基礎・基本的な理解がされている。

#### カリキュラム編成方針

**体系性**：各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している

**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成している

**個別化（進路への対応）**：主として2・3・4年次には学科を構成する各教育分野の専門的な授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修が可能なように編成している

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（社会）

## 学位授与の方針

社会科では、「人文・社会科学系の諸学問を総合的に学ぶとともに、社会認識能力および教員としての基本的な能力と資質を身につけること」を目標とするとともに、幅広い分野にわたる各専門科目や演習・実習の特性を生かして論理的判断力（公民系諸科目）、実証的判断力（地歴系諸科目）、教育現場における分析・実践力（教科教育、実習）を養い、問題解決に向けて適切な行動がとれる人材の育成を目指している。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を修得し、所定の単位を取得した者に、本課程の学位を授与する。

## 学習成果

## 【豊かな教養】

- 文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている。
- 自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている。

## 【確かな専門性】

- 人文・社会系諸学問・社会科教育学の基本的理論・概念について説明することができる。
- 人文・社会系諸学問・社会科教育学における研究・教育手法を使用することができる。
- 人文・社会系諸学問・社会科教育学の最新動向について様々な情報源から自律的に情報を取捨選択できる。

## 【創造的な知性】

- 人文・社会系諸学問・社会科教育学における手法を用いて、現実の課題を見出し、解決方法を探ることができる。

## 【社会的な実践力】

- 柔軟に発想し、かつ物事を論理的に筋道立てて批判的に検討することができる。

## 【グローバルな視野】

- 外国語の文献を読解することができる。

## 【情報通信技術の活用力】

- インターネット等を含む ICT を使用し、情報の収集・分析・判断・応用を行うことができる。

## 【汎用的な知力】

- 相手の立場や意見を適切に理解したうえで、相手にわかりやすく、情報や意見を伝えることができる。
- 明晰な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、文章を作成することができる。

## カリキュラム編成方針

**体系性**：各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している。

**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を修得するよう編成している。

**個別化（進路への対応）**：3・4年次には卒論指導担当教員が個別の学生相談に応ずるとともに、求人情報の周知、就職対策講座への参加への呼びかけを徹底している。

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（数学）

## 学位授与の方針

教育学部数学科は、学士課程教育において、数学および数学教育に関する体系的な教育指導を通して、高度の教育実践力を身に付けた数学教員を育成する。特に、「代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学の分野に関する高度な専門的知識を身に付けた、優れた学習指導能力と教材研究開発能力を持った教員の育成」を目指している。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成された教育課程を学修し、所定の単位を取得したものに、学位の授与を行うものである。

## 学習成果

## 【豊かな教養】

- 文化・社会や自然・生命に関する幅広い教養と豊かな人間性を身に付けている。
- 自然科学・社会科学・情報科学に関する一般的な知識を持っている。また、社会や日常生活に潜む数理的現象やその仕組みに関心を持ち、面白さを見出すことができる。

## 【確かな専門性】

- 数学および数学教育(代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学)の基本的理論・概念について理解し、説明することができる。
- 数学および数学教育(代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学)に関する文献や資料を調べ、最新の研究動向について情報を得ることができる。
- 教職の意義・教育の基礎理論・教育課程及び指導法・生徒指導・教育相談及び進路指導等の教職に関する基礎的な知識を持ち、理解している。

## 【創造的な知性】

- 数学および数学教育(代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学)の理論・実践について先行研究における問題点を整理し分析・検討・考察を行うことができる。また、解決方策を見出すことができる。

## 【社会的な実践力】

- 数学および数学教育について得た深く幅広い知識および技能と、高い数学的・論理的思考力を活用して、学習指導と教材開発に活かすことができる。

## 【グローバルな視野】

- 外国語の文献を読解することができる。

## 【情報通信技術の活用力】

- インターネットやeメールを利用し、数学および数学教育に関する情報の収集・分析・交換を行うことができる。

## 【汎用的な知力】

- 数学の具体的な授業デザインの力量を備えている。
- 数学および数学教育に関して得た知見や自らの考えを、明晰な論理の筋道と表現を用いて、わかりやすく伝える文章表現力・プレゼンテーション能力を身に付けている。

## カリキュラム編成方針

**体系性**：代数学・幾何学・解析学・応用数学・数学教育学の各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している。

**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成している。

**個別化（進路への対応）**：3・4年次には学科を構成する各分野の専門的な授業科目を置き、また、ゼミナールを実施することで各個人の進路に応じた指導を行えるよう編成している。

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（理科教育）

## 学位授与の方針

教育学部理科教育は、学士教育課程において「自らの専門性を確立することによって、教科（理科）の教育目的を適切に児童・生徒に伝えることができる能力を有する人材の養成」を目標としている。具体的には、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学の基礎的・専門的知識及び実験・観察・指導法の技能を習得して活用する能力、科学的・論理的な思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力を有する人材の養成を目指している。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本コースの学位を授与する。

## 学習成果

## 【豊かな教養】

- 文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている
- 自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている

## 【確かな専門性】

- 物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の基本的理論・概念について説明することができる
- 物理学・化学・生物学・地学における実験、理科指導法に関する基本的な技能を修得している
- 自然科学・理科教育学における研究手法を使用することができる
- 自然科学・理科教育学の最新動向について様々な情報源から自律的に学ぶことができる

## 【創造的な知性】

- 自然科学・理科教育学を用いて、現実の課題を見出し、解決法を提案することができる

## 【社会的な実践力】

- 柔軟な発想と論理的思考ができる

## 【グローバルな視野】

- 英語の文献を読解するとともに、英語による簡単なプレゼンテーションを行うことができる

## 【情報通信技術の活用力】

- インターネットやeメールを含むITを使用し、情報の収集・分析や交換を行うことができる

## 【汎用的な知力】

- 相手に分かりやすく、相手の関心を惹き付ける話し方で、情報や意見を伝えることができる
- 明晰な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、文章を作成することができる

## カリキュラム編成方針

**体系性**：各分野の学問体系を基盤として、理科の全分野を網羅する教育課程を編成している

**段階性**：教養教育に始まり学年進行に従って、基礎的な科目から応用的・発展的な科目を学修するよう編成している

**個別化（進路への対応）**：2・3・4年次にはコースを構成する各教育分野の専門的な授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修を保障するよう編成している

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（音楽）

**学位授与の方針**

教育学部音楽科は、学士課程教育において「音楽および音楽教育について広い視野と深い教養、高度な技能をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成」を目標とするとともに、「音楽教員として必要な基礎的・専門的な知識・技能を修得し、併せて主体的な課題探求能力をもった人材の育成」を目指している。これらのことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本学科の学位を授与する。

**学習成果****【豊かな教養】**

望ましい音楽科教員として音楽の理論、概念、歴史をはじめ、文化・社会や自然・生命に関する幅広い知識を身に付け、物事に対する探求心と豊かな教養を身に付けている。

**【確かな専門性】**

音楽および音楽科教育に関する理論、概念、歴史の専門的な知識と声楽・器楽および作曲・編曲等に関する高度な技能を身に付けている。また、児童・生徒への音楽の学習指導に関する専門的な知識・技能を身に付けている。

**【創造的な知性】**

音楽および音楽科教育に関する課題を発見し、解決のために個人やチームで取り組み、その成果を発表・実践する能力を持っている。

**【社会的な実践力】**

音楽および音楽科教育をもとに社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、市民や職業人として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探索し、社会に貢献する意欲を持っている。

**【グローバルな視野】**

音楽や音楽科教育を通して国際社会に積極的に参加するために必要な価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。

**【情報通信技術の活用力】**

情報通信技術（ICT）を活用した情報収集や学習指導に必要な知識・技能・倫理を身に付けている。

**【汎用的な知力】**

あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、表現力を身に付けている。

**カリキュラム編成方針**

**体系性：**音楽教育に関する各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している。

**段階性：**基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学習するよう編成している。

**個別化（進路への対応）：**望ましい音楽科教員になるために3・4年次に設定した個々の研究分野に即した科目履修を保障するよう編成している。

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（美術）

**学位授与の方針**

中学校教員養成課程（美術）は、学部の方針に基づき、学士課程教育において、「広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成のため、教員や地域社会の指導者として必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する」ことを目的としている。このことを踏まえ、本学科が定める学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学習し、所定の単位を取得した者に、学位を授与する。

**学習成果****【豊かな教養】**

美術に関する教養を育み、講義、演習、実技を通じた学習により、豊かな教養を身につける。

**【確かな専門性】**

美術教員として、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育に関する高度な専門性を身につける。

**【創造的な知性】**

美術科での専門的な学習を通して造形的思考を養い、問題解決に資する能力を身につける。

**【社会的な実践力】**

展覧会および、対外的な各種コンクールへの参加や芸術活動、ボランティア活動を通して、地域社会とのコミュニケーション能力を身につける。

**【グローバルな視野】**

国際的な展覧会やコンクール等を通して、グローバルな芸術活動への視野を獲得する。

**【情報通信技術の活用力】**

授業を通して、情報通信技術（ICT）を修得し、制作やプレゼンテーション等に活用できる能力を身につける。

**【汎用的な知力】**

社会において活用できる実践的な芸術鑑賞力や表現力を身に付ける。

**カリキュラム編成方針**

**体系性**：各領域の学問体系を基盤として教育課程を編成している

**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学習するよう編成している

**個別化（進路への対応）**：3・4年次には美術科を構成する各領域の専門的な授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修を保障するよう編成している

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（保健体育）

**学位授与の方針**

教育学部保健体育科は、学士課程教育において、高い教養と専門性に裏付けられた実践力を備えた保健体育科教員の養成を目標とするとともに、体育・スポーツなどの指導や学習方法に関する理論に基づいた指導力と実践力を身につけ、運動の価値を認め生涯スポーツを指向する人材の育成を目指している。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、学位を授与する。

**学習成果****【豊かな教養】**

文化・社会および自然・生命に関する一般的な理解と関心を持っている  
文化・社会および自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている

**【確かな専門性】**

教職の基本的理論・概念について説明することができる  
保健体育関連の教科教育・教科専門の基本的理論・概念について説明することができる  
教職および保健体育関連の教科教育・教科専門における研究手法を使用することができる

**【創造的な知性】**

教職および保健体育関連の教科教育・教科専門の最新動向について、様々な情報源から自律的に学ぶことができる  
自ら課題を発見・設定しその解決するための方法を提示でき、柔軟な発想と論理的思考ができる

**【社会的な実践力】**

教職および保健体育関連の教科教育・教科専門の知識を用いて、現実の課題を見出し、解決法を提案することができる  
適切な対人関係・コミュニケーション等を構築することができる

**【グローバルな視野】**

英語の文献を読解するとともに、英語による簡単な情報や意見の伝達ができる  
スポーツ文化を理解することでグローバルな視野を持つことができる

**【情報通信技術の活用力】**

インターネットやeメールを含むITを使用し、情報の収集・分析や交換を行うことができる

**【汎用的な知力】**

「数的処理能力」「読解力」「論理的思考力、概念化能力」「文章表現の技能」「口頭発表・討議の技能」等の力を身につけている  
明晰な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、文章を作成することができる

**カリキュラム編成方針**

**体系性：**各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している

**段階性：**基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成している

**個別化（進路への対応）：**3年次からゼミナールを開講し、将来の進路に即した履修を保証するよう編成している



## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（技術教育）

## 学位授与の方針

教育学部技術教育は、学士教育課程において「自らの専門性を確立することによって、教科（技術）の教育目的を適切に児童・生徒に伝えることができる能力を有する人材の養成」を目標としている。具体的には、木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報とコンピュータ、技術教育学の基礎的・専門的知識及び製作・制作・栽培・指導法の技能を習得して活用する能力、科学技術的・論理的な思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力を有する人材の養成を目指している。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本コースの学位を授与する。

## 学習成果

## 【豊かな教養】

- 文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている
- 自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている

## 【確かな専門性】

- 技術教育の基本的理論・概念について説明することができる
- 技術教育の指導法に関しての基本的な技能を修得している
- 技術教育における研究手法を用いることができる
- 技術教育の最新動向について様々な情報源から自律的に学ぶことができる

## 【創造的な知性】

- 技術教育に関する知識・理解・技能により、現実の課題を見出し、解決法を提案することができる

## 【社会的な実践力】

- 柔軟な発想と論理的思考ができる

## 【グローバルな視野】

- 異文化理解と持続可能な社会の実現を考慮した思考ができる

## 【情報通信技術の活用力】

- 情報機器を活用したプレゼンテーションを行うことができる
- インターネットや電子メールを含む ICT を活用し、情報の収集・分析や交換を行うことができる

## 【汎用的な知力】

- 相手に分かりやすく、相手の関心を惹き付ける話し方で、情報や意見を伝えることができる
- 明晰な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、文章を作成することができる
- 職業意識・職業意欲を持つことができる

## カリキュラム編成方針

**体系性**：各領域の学問体系を基盤として、技術教育の全領域を網羅する教育課程を編成している

**段階性**：教養教育に始まり学年進行に従って、基礎的な科目から応用的・発展的な科目を学修するよう編成している

**個別化（進路への対応）**：1年次には各領域の専門的な授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修を保証するよう編成している

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程（家政教育）

**学位授与の方針**

教育学部家政教育学科では、学士課程教育において、「中学校技術・家庭科（家庭分野）の教科指導と生徒指導・教育方法等の教職に関する専門性を身に付け、広い教養・視野を持ち、豊かな人間性と高度の教育実践力を備えた中学校技術・家庭科（家庭分野）の教員養成」を目的としている。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本学科の学位を授与する。

**学習成果****【豊かな教養】**

教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的知識を身に付け、異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。

**【確かな専門性】**

家政教育に関する理論・概念や方法論等に関する基本的知識と技術を身に付け、家政教育に関する内容と方法に関する基本的知識と技術をを活用し、中学校技術・家庭（家庭分野）の教科指導・生徒指導等の問題解決のために応用できる。

**【創造的な知性】**

中学校技術・家庭（家庭分野）の教科指導や生徒指導等に関わる課題を自分で発見し、解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やチームで取組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。

**【社会的な実践力】**

社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、市民や職業人（特に教員）として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探求し、社会に貢献する意欲を持っている。

**【グローバルな視野】**

国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。

**【情報通信技術の活用力】**

社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。

**【汎用的な知力】**

あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、数的処理能力を身に付けている。

**カリキュラム編成方針**

**体系性：**教免法に定められた中学校・高等学校「家庭」の免許取得に必要な「教科に関する科目」に従い、いずれの科目も一定の水準以上の専門性を身につけるよう体系的にカリキュラムを編成している。

**段階性：**1年次から4年次までの教育実習の段階性を中軸に、学年進行に従って、導入・基礎的な科目から応用・発展的な科目を学習するようカリキュラム編成を行っている。

**個別化（進路への対応）：**卒業論文では、学生の個別の関心に応じた研究指導を行うとともに、教員採用試験を念頭に置いた進路指導に学部・学科ともに力を入れている。

## 学位プログラム名称：中学校教員養成課程 外国語（英語）

**学位授与の方針**

中学校教員養成課程外国語（英語）科では、幅広く豊かな教養と確かな専門性を身に付け、社会に貢献するために必要な創造的知性と実践力を兼ね備え、グローバルな視野と国際的対話力を持った人材の育成を目指している。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本課程の学位を授与する。

**学習成果****【豊かな教養】**

教養ある社会人に必要な文化・社会や自然・生命に関する一般的知識を身に付け、異なる思考様式を理解し、知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。

**【確かな専門性】**

英語学・英米文学・英語教育学の理論・概念や方法論に関する基本的知識を身に付け、各分野の情報・データを活用し、問題解決のために応用できる。

**【創造的な知性】**

自分で課題を発見し、解決のために必要な調査・研究及び実践に個人やグループで取り組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。

**【社会的な実践力】**

社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、教員として必要なコミュニケーション能力、倫理観を身に付け、将来進むべき道を探求し、社会に貢献する意欲を持っている。

**【グローバルな視野】**

国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けている。

**【情報通信技術の活用力】**

現代の社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付けている。

**【汎用的な知力】**

あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、データ処理能力を身に付けている。

**カリキュラム編成方針**

**体系性：**各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している。

**段階性：**基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成している。

**個別化（進路への対応）：**3・4年次には各分野の専門的な授業科目を置き、英語学・英米文学・英語教育学の各分野での専門的な研究に対応できる科目履修を保障するよう編成している。

## 学位プログラム名称：教育学科

## 学位授与の方針

教育学科は、教育学部の学位授与方針にもとづき、教育学（教育哲学、教育史、教育方法学、学校経営学、教育社会学、社会教育学、教育人間学など）に関する幅広い教養、および教育実践（学校教育、社会教育、家庭教育）に関する深い認識を形成することを目的としている。

このような目的にふさわしい学習成果を達成するべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本学科の学位を授与する。

## 学習成果

**【豊かな教養】**教育学に関する一般的な理解と関心を持ち、教育現実に関する深い関心と広い視野を持っている。さらに、教育に関する知識や理解を高めていく主体的な学習態度が備わっている。

**【確かな専門性】**

教育学の理論・概念や方法論に関する基本的認識を獲得し、当該分野の情報・データを活用し、教育現実の問題解決のために、その成果を応用できる。

**【創造的な知性】**

教育学や教育実践における課題を発見し、解決のために必要な調査・研究をすすめ、実践に個人やチームで取組み、その成果を論理的に発表・討議する能力を持っている。

**【社会的な実践力】**

社会や教育に対する幅広い関心を持ち、市民としての教養や実践力を身につけ、それを市民生活や職業生活において活かすことができる。

**【グローバルな視野】**

国際的な問題に関心を持ち、国際的な視野の中で教育を考察する力を持ち、異なる価値観や文化に対する理解力を持っている。

**【情報通信技術の活用力】**

社会生活や職業生活に求められる情報通信技術を活用するために必要な知識・技能・倫理を身につけ、情報を読みとくためのメディアリテラシーの向上に努める。

**【汎用的な知力】**

あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる批判的知性、自主的判断力、情報読解力を身につけている。

## カリキュラム編成方針

**体系性：**教育学および隣接諸科学の学問体系を基盤にして教育課程を編成している。

**段階性：**基礎的な科目から学年進行にそって応用的・発展的な科目を学修するように編成している。

**個別化（進路への対応）：**3, 4年次には、教育学の専門的な授業科目をおき、教職など将来の進路を見とおした科目履修を保障するよう編成している。

## 学位プログラム名称：心理学科

## 学位授与の方針

教育学部心理学科は、学士課程教育において「広い視野と深い教養を持った豊かな人間性を基盤とした教員の養成のために必要な基礎的・専門的知識・技術を習得させ、合わせて主体的な課題探求能力を育成する」目的に併せて、人生を豊かに生きてゆくための人間形成をも視野に入れて、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に本学科の学位を授与する。

## 学習成果

## 【豊かな教養】

教育・発達・臨床の3領域の心理学をまんべんなく履修することが、文化・社会に関する一般的理解に繋がる。また、講義、実験、演習をまんべんなく履修することで、自己学習能力を身につく。

## 【確かな専門性】

3領域の心理学を講義、演習、実験を通じて学ぶことで、心理学の「理論・概念」「方法論」「データ処理」「応用、問題解決の技能」といった、心理学全般の専門的知識が涵養される。

## 【創造的な知性】

講義、演習、実験を通して身につけた知識は卒業論文という形で表現され口頭発表される。文献購読、課題設定、データ採取、論文としての文章表現、口頭発表、討論等の経験を通じ、創造的知性が涵養される。

## 【社会的な実践力】

実験、演習などにおいては、一連の作業をチームで進めてゆく体験をする。そのような体験を通して、対人関係能力、コミュニケーション力などが涵養される。

## 【グローバルな視野】

演習では外国語の文献を購読する。その演習を通じ、外国語の運用能力が高まることが想定される。

## 【情報通信技術の活用力】

心理学研究法、心理統計法などの授業を受講することにより、先行研究に関する情報収集、データベースの利用、統計的分析におけるコンピューターの活用などが、情報通信技術の活用力を高める。

## 【汎用的な知力】

汎用的な知力としては、心理学実験におけるデータ処理能力、対人コミュニケーション力、文献購読による読解力（外国語を含む）、演習における発表時のプレゼンテーション能力、そして、全ての授業を通じた論理的思考力等が、想定される。

## カリキュラム編成方針

体系性：実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、3領域の演習Ⅰ、Ⅱを必修化し、最終年で卒業論文の作成に繋がる編成となっている。

段階性：統計法、研究法を低学年時に設定し、また実験、演習のⅠ、Ⅱ、Ⅲを段階的に履修することで、段階的に知識を深める構成になっている。

個別化（進路への対応）：より深く学ぶことを希望する学生に対して、選択科目の特殊講義を設定している。

## 学位プログラム名称：特別支援学校教員養成課程

**学位授与の方針**

特別支援学校教員養成課程は、学士課程教育において、「広い視野と深い教養を持ち、学校現場において特別支援教育を推進する実践力を育成する」ことを目的としている。このことを踏まえ、本学が定める学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学習し、所定の単位を取得した者に、本課程の学位を授与する。

**学習成果****【豊かな教養】**

- 特別支援教育を推進するために必要な人文科学・社会科学に対する一般的な知識と理解を持っている
- 特別支援教育を推進するために必要な自然科学・生命科学に対する一般的な知識と理解を持っている

**【確かな専門性】**

- 特別支援教育学（特別支援教育学、特別支援教育心理学、特別支援教育指導学）の基本的理論・概念について説明することができる
- 各種の障害をもつ児童生徒への基本的な指導・学習支援を行うことができる。
- 特別支援教育学（特別支援教育学、特別支援教育心理学、特別支援教育指導学）における研究手法を使用することができ、かつ研究の最新動向について様々な情報元から主体的に学ぶことができる

**【創造的な知性】**

- 特別支援教育における現実の課題を見出し、解決方法を提案することができる

**【社会的な実践力】**

- 学校組織の中で他の教員と協同して特別支援教育を行うことができる対人関係能力を持っている
- 組織の中で主体的に特別支援教育を推進できるリーダーシップを持っている

**【グローバルな視野】**

- 世界の特別支援教育の動向について一般的な知識と理解を持っている
- 外国語の文献を読解することができる

**【情報通信技術の活用力】**

- インターネットやeメールを含むITを使用し、情報の収集・分析や交換を行うことができる
- 障害児への教材開発において各種の情報通信技術を活用することができる

**【汎用的な知力】**

- 相手に分かりやすく、相手の関心を惹きつける話し方で、情報や意見を伝えることができる
- 明晰な理論の筋道と説得力のある表現を用いて、文章を作成することができる

**カリキュラム編成方針**

**体系性**：特別支援学校教員免許状取得のための必要履修科目を基盤として教育課程を編成している

**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を学修するよう編成している

**個別化（進路への対応）**：学生は3年次より研究室に配属され、各自の持つテーマに基づいて学習・研究を進めると共に、将来の進路に即した指導を指導教員が行うように編成している

## 学位プログラム名称：養護教諭養成課程

## 学位授与の方針

養護教諭養成課程では、広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成のため、教科専門と生徒指導や教育方法等の教職専門の理論と技術を修得し、子どもと教育に対する幅広い関心を持ち、論理的思考力を身につけることで、高度の教育実践力を備えた教員の養成を目標とする。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に、本課程の学位を授与する。

## 学習成果

## 【豊かな教養】

- 子どものストレスマネジメント教育をテーマに、幅広く、現代の社会的精神的課題について理解を深め、関心を高めるため、文化・社会・自然・生命に関して理解している。

## 【確かな専門性】

- 保健科教員としての力量も有し、学校現場において児童生徒の心身の健康教育を行う中心的役割を果たす能力を備えている。
- 養護学的前提・基礎となる基本知識・技能を身につけている。
- 養護学の最新動向についても把握している。
- 養護学的前提となる基本的理論・概念及び、その研究方法についても理解している。
- 養護学の中の保健教育に関する最新動向を分析し、課題設定と解決法を見出すことができる。
- 健康観察・保健指導・看護の実際を学び、研究的視点・分析・解決の方向性を説明することができる。
- 学内外の実習及び臨地での体験を通して、応用や問題解決の技能を身につけている。

## 【創造的な知性】

- 文献の読解力を身につけ、その要点をつかめるようになる。
- 分析結果に基づいた論理的考察、概念化能力を身につけている。
- 情報収集・分析方法を学習し、研究課題設定・解決能力を身につけ、討議により考えを深めることができる。

## 【社会的な実践力】

- 研究グループの中で討論し、分かりやすい発表を行うことができる。
- グループ内討議・発表を行うことができる。
- ロールプレイ、グループ活動、ディスカッション、シェアリング、プレゼンテーションなどの方法を取り入れることができ、それを通じてチームワーク、対人関係・コミュニケーション能力を身につけている。
- 児童生徒への対応能力を身につけている。
- 保健所や保健センターにおける実習を通し、市民性・公共心、社会参加意欲を身につけている。
- 施設・病院・保健所・保健センター・学校等の臨地における実習を通し、養護教諭としての実践的能力を身につけている。

## 【グローバルな視野】

- 英語の文献を読解し、研究に活用することができる。

## 【情報通信技術の活用力】

- 研究の分析結果及び発表のプレゼンテーション作成を行うことを通じて、情報通信技術を十分に活用することができる。

## 【汎用的な知力】

- 卒業研究をまとめ論文化していく過程において、文章表現の技能や数的処理能力を身につけている。
- 国内海外問わず様々な文献を精読することができる。
- 調査研究等において、高度なデータの集計や処理の方法について理解している。

## カリキュラム編成方針

**体系性**：各分野の学問体系及び連携を基盤として教育課程を編成している。

**段階性**：基礎的な科目から学年進行に沿って専門的・実践的な科目を学修するよう編成している。

**個別化（進路への対応）**：特に2年次以降では課程を構成する各分野の専門的な授業科目を置き、将来の進路に即した科目履修を保障するよう編成している。

## 学位プログラム名称：地域共生社会課程

## 学位授与の方針

地域共生社会課程は、学士課程教育において、広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした地域社会における生涯学習等の指導者の養成のため、地域社会の指導者として必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成する、ことを目的としている。

そのために人文・社会・自然科学系の諸学問を総合的に学ぶとともに、地域社会に対する認識能力・異文化への深い理解力を身につけることを目標とし、幅広い分野にわたる各専門科目や演習・文化実地研究の特性を生かして論理的判断力・実証的判断力・地域社会における実践力を養い、問題解決に向けて適切な行動がとれる人材の育成を目指している。このことを踏まえ、以下に示す学習成果を達成すべく編成・実施された教育課程を修得し、所定の単位を取得した者に、本課程の学位を授与する。

## 学習成果

## 【豊かな教養】

- 文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている。
- 自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている。

## 【確かな専門性】

- 人文・社会・自然系諸学問の基本的理論・概念について説明することができる。
- 人文・社会・自然系諸学問における研究・教育手法を使用することができる。
- 人文・社会・自然系諸学問の最新動向について様々な情報源から自律的に情報を取捨選択できる。

## 【創造的な知性】

- 人文・社会・自然系諸学問における手法を用いて、現実の課題を見出し、解決方法を探ることができる。

## 【社会的な実践力】

- 柔軟に発想し、かつ物事を論理的に筋道立てて批判的に検討することができる。

## 【グローバルな視野】

- 外国語の文献を読解することができる。

## 【情報通信技術の活用力】

- インターネットを含むICTを使用し、情報の収集・分析・選別・評価を行うことができる。

## 【汎用的な知力】

- 相手の立場や意見を適切に理解したうえで、相手にわかりやすく、情報や意見を伝えることができる。
- 明確な論理の筋道と説得力ある表現を用いて、文章を作成することができる。

## カリキュラム編成方針

体系性：各分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している。

段階性：基礎的な科目から学年進行に沿って応用的・発展的な科目を修得するように編成している。

個別化（進路への対応）：3・4年次には卒論指導教員が個別の学生相談に応ずるとともに、求人情報の周知・就職対策講座への参加への呼びかけを徹底している。



## 学位プログラム名称：生涯スポーツ福祉課程

**学位授与の方針**

本課程は教育学部の教育環境を享受して、社会貢献に必要な創造的知性と実践力を兼ね備えた地域社会の指導者養成をめざす。具体的には、保健体育（中・高校）と福祉（高校）教員免許、社会福祉士（受験資格）を取得し、地域社会の指導者として貢献できる人材育成を目指すものである。社会教育指導者として、グローバルな視野を持った人材を育成するため、以下の学習成果を設定する。

**学習成果****【豊かな教養】**

文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている。  
自然・環境・生命を基礎とした基本的な理解と、豊かな生活づくりに関する広い視野を持っている。  
課題の発見と探求する能力を持っている。

**【確かな専門性】**

専門理論・概念について説明することができる。  
専門領域の研究・方法論を使用することができる。  
問題解決に向けた情報データを入手し、整理・利用することができる。

**【創造的な知性】**

論理的な思考力を持っている。  
多くの知見をまとめて、問題を概念化する能力を持っている。  
口頭発表・討議の技能を持っている。  
現実の課題を見出し、解決方法の検討手段を身につけている。

**【社会的な実践力】**

健康長寿社会の実現に向けた実践力を身につけている。  
心豊かな社会づくりの発展に向けた実践力を持っている。  
スポーツを通じた地域社会づくりが実践できる。  
対人関係・コミュニケーション・リーダーシップ力を身につけている。

**【グローバルな視野】**

世界と日本社会情勢を把握している。  
異文化への関心と理解力が高い。

**【情報通信技術の活用力】**

インターネットやeメールを活用して情報の収集・分析や交換ができる。  
正しい情報を選別できる基礎学力を持っている。  
情報倫理とセキュリティーを理解している。

**【汎用的な知力】**

文章作成および読解力を身につけている。  
相手に解かり易く、相手の関心をひきつける話し方で、情報や意見を伝えることができる。  
統計数値の読み方や、集計処理能力を身につけている。

**カリキュラム編成方針**

**体系性**：本課程の理念を達成するため、1年次からスポーツ、福祉、健康分野の学問体系を基盤として教育課程を編成している。また、実践力養成としては、1年・2年次水泳実習、野外実習、3年次スポーツ指導実習、4年次福祉実習、教育実習（保健体育、福祉）を修得している。

**段階性**：スポーツ科学、福祉学、健康科学のより一層の深化を目指し、2年次以降、より専門性を高めたカリキュラム編成を行っている。

**個別化（進路への対応）**：3年次にゼミ選択制を取り入れ、各分野の専門的な授業科目を置き、将来の進路を考慮した科目履修を保障するようカリキュラム編成を行っている。